

女川町訪問記録

文&写真 学生記者 中村亮士(商学部2年)



熊野神社から女川町を望む

今春、ようやく私は決心した。私は、東北に足を踏み入れることに決めた。私は3月に中央大学学生課が企画した「被災地スタディーツアー」で宮城県女川町を訪れた。

女川町は、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた場所だということは知っていた。震災から3年がたち、いわゆる「復興」がどこまで進んでいるのか関心があり、自分の目で見ようと思い、応募した。

ツアーに参加する以前の私は、授業に出てそれなりに学び、サークルに行き、適度に遊び、アルバイトをするような生活だった。

資格取得の勉強をするわけでもなく、インターンや留学など自分にプラスになるであろうこともしていない。自分が誇れるような活動を、大学生活の中で何もしていないことに気付いた。

「震災のあった東北に行ってみたい」とは思っていたので、そんな活動はないだろうか、と情報を探したことはあった。

これまで現地に足を踏み入れたことはなかった。自分から踏み込む勇気が足りなかったように思う。しかし今回は、東北の現状を知りたい、また自分が成長するために、やるなら今しかないという思いが強く、私はやっとアクションを起こした。こうして、ツアーに参加することとなった。

女川町では住民の方々に震災当時のこと、復興への考え方などを話していただいた。町の中がどうなっているのか見て回った。現地の方は優しく接してくれた。料理はおいしかったし、宿泊場所の居心地は素晴らしかった。とても良い町だった。

ツアーを通して感じたのは、まず、私は多くのことについて無知であった。例えば、行く前は、現地の写真を見ても、「復興は3年たっても上手く進んでいないんじゃないか」と思っていた。

しかし今は、今後津波が来ても被害を減らせるように、かさ上げをしている最中で、工事が続けられていると知った。女川町は町の83%を失ったそうだが、その失った分ですべて新しく都市計画ができるから、物事の進み具合は早いという。

私は復興が遅れているという趣旨の特集や、それについてのコメンテーターの発言を見聞きして、「復興は進んでいない」というイメージがあった。被災した方々がそう話しているケースもあるので、遅れているというのは本当なのかもしれない。

ただ、現地関係者が懸命に取り組んでいるのを目の当たりにし、よそから来た私が、そう簡単に「復興は進んでいない」と思ふべきではない、と今は感じている。

また、現地の方々から、「県外の人に女川町に来てほ

忘れない2011.3.11

いい」という声を多く聞いた。「今、女川町で何が起きているのか、住民がどんな気持ちで暮らしているのか感じてほしい」「何度も訪れて、前とどこが変わったか感じてほしい」と話していた。

そこで、5月末に再び女川町を訪れたのだが、2カ月たっても町並みは大きくは変わっていなかった。復興を成し遂げるにはもう少し年月が必要だろう。ただ、工事はなお続けられていたし、現地の方の懸命に取り組む姿勢は変わっていないように見えた。

だから、遠くない将来、「復興した」という声が聞けるかもしれないと感じたし、そうなってほしいと願っている。これからも町が復興へ向かう様子を、足を運んで自分の目で見続けていきたいと思った。

私が3月のツアーに参加して心に残っているのが、現地で町づくりに尽力されている方が口にされていた、「誰かのためではなく、自分の夢のために、志を持った人間

になってほしい」という言葉だ。

「志」とは、心に決めた目標のこと。私はツアーを契機に、自分の将来について考えることができた。それを頭に描きながら、この経験を良いステップとして、これから自分が何か誇れるようなことをしていけるように、大学生活で努力していく。心に決めた。

最後に、皆さんは被災地支援についてどういう思いをお持ちだろうか。

これまでに支援をしてきたという人、何かしたいとは思いうけれど行動できずにいた人もいるかもしれない。もともと後者だった私が偉そうに言えることではないが、まずは「被災地について知る」ことが大切だと思っている。

震災時何があったのかを学んで、機会があれば現地に足を運んでみて、実情を知ってほしいと思う。このコラムを見て、少しでも関心を持っていただけたのなら幸いである。

HAKUMON Chuo

学内配布場所一覧



中大生が作る中大生のための情報誌『HAKUMON Chuo』は、各キャンパスの以下の場所で配布しています。ぜひ手に取って読んでみてください。

●多摩キャンパス

各学部・大学院事務室
学生部
図書館
グリーンテラス
キャリアセンター
学友会
国際センター
生協2階
入学センター
炎の塔

●市ヶ谷キャンパス

ロースクール事務室

●市ヶ谷田町キャンパス

総合インフォメーションカウンター
アカウンティングスクール事務室

●駿河台記念館

駿河台記念館1階ロビー

●後樂園キャンパス

理工学部事務室
生協
ビジネススクール事務室

